



2022 JR 総連春闘勝利！ シリーズ⑪

社員の切実な意見は全て無視！ 賃金を改善する気は全くなし！

2022 春闘 第7回(再申し入れ) 団交

本部は本日、2022年度賃金引き上げ、夏季手当等の再申し入れについての第7回団体交渉を開催しました。3月18日開催の第6回団体交渉で、会社は回答を示しましたが、本部は検討に値しないとしてその場で再申し入れを行いました。

本部は「ベア6,000円、定期昇給1乗数1,500円×4乗数で6,000円及び逓減撤廃、夏季手当3.5ヶ月は、社員の切実な要求であり、絶対に譲れない。多くの社員が定期昇給400円で、無いのに等しい。JR他社はベアを出したところがあり、JR東海も出さない理由はない。収入は大幅に改善されている。安定的支給ベースについての会社主張を100%譲ったとしても、令和4年3月期の業績予測△300億円は、安定的支給ベースの許容範囲内だ。4期連続の期末手当大幅削減は断じて許さない。物価は大幅に上昇し、生活に影響が出ている。社員の賃金が大幅に削減されている原因は、リニア建設である。直ちにリニア建設を中止せよ。これでは、離職者が増える一方だ。役員は10%カットしても高額であり、社員は低賃金だ」などと主張しました。

しかし、会社は「回答を撤回する考えはない。収入が改善されたが、赤字であることには変わらない。他社がベアをやっても当社は当社だ。安定的支給ベースは黒字が前提だ。役員のカット率は社員よりも高い。逓減撤廃の考えはない。リニア建設は当社の使命である」などと、回答した賃金を見直す考えは全く示しませんでした。

本部は対立を確認し、持ち帰り検討としました。